



2018年4月27日

各位

会社名 株式会社 A i m i n g  
代表者名 代表取締役社長 椎葉 忠志  
(コード番号: 3911 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 経営管理グループ  
ゼネラルマネージャー 渡瀬 浩行  
(TEL. 03-5333-8424)

### 平成30年12月期第1四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年2月13日に公表いたしました平成30年12月期第1四半期累計期間（平成30年1月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成30年12月期第1四半期累計期間（平成30年1月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
				百万円	円 銭
予想値 (A)	2,244	△591	△592	△594	△17.71
実績値 (B)	1,969	△678	△692	△694	△20.65
増減額 (B-A)	△274	△86	△100	△100	—
増減率 (%)	△12.2	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成29年12月期第1 四半期)	2,058	△134	△127	△129	△3.85

#### 2. 差異の理由

平成30年2月13日公表の平成30年12月期第1四半期の業績予想における売上高については、主力タイトル『剣と魔法のログレス いにしへの女神』と前四半期（平成29年12月期第4四半期）にリリースした新規タイトル『キャラバンストーリーズ』が四半期を通じて売上貢献することを見込み、前四半期比で増収予想（前四半期売上高1,841百万円）としておりました。また、売上増収に伴い、営業利益についても、前四半期比で増益予想（前四半期営業利益△1,022百万円）としておりました。

しかしこの度、平成30年12月期第1四半期累計期間の連結業績において、予想値と実績値の差異が生じたのは、主として、『剣と魔法のログレス いにしへの女神』と新規タイトル『キャラバンストーリーズ』の売上が想定を下回ったためであります。

具体的には、『剣と魔法のログレス いにしえの女神』において、IPコラボやキャンペーンを実施したものの、前四半期に好調に推移した4周年記念キャンペーンの反動が想定以上に大きかったことに加えて、『キャラバンストーリーズ』の課金ユーザーが想定に対して低調に推移した結果、売上高が予想値に対して274百万円の減収となりました。

上記売上高の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はともに当初予想を下回ることとなりました。

以上